

指定場所配達の実践

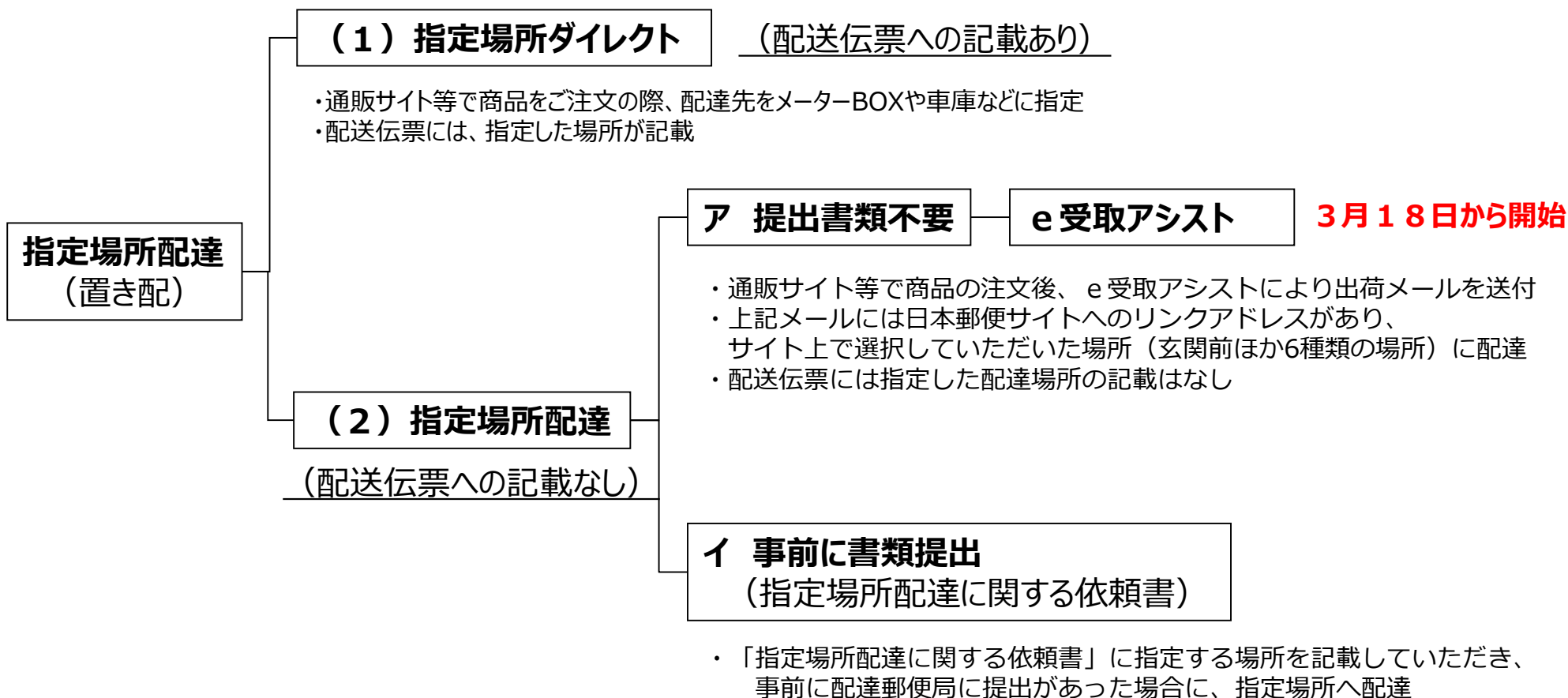
目 次

- 1 指定場所配達（置き配）の概要
- 2 実証実験の概要
- 3 普及に向けての主な課題

2019年3月25日
日本郵便株式会社

日本郵便が提供している指定場所配達サービス（いわゆる「置き配」サービス）は、大きく2つに分けられる。

- (1) 指定場所ダイレクト
- (2) 指定場所配達



「e受取アシスト」とは、日本郵便のゆうパックの受け取りを便利にするサービスの総称であり、以下の2つのサービスから構成

- (1) eお届け通知 (ゆうパックのお届け日時や不在通知のLINE等での連絡)
- (2) e受取チョイス
(上記通知から、お届け日時や受取方法の変更ができるサービス)

3/18(月)スタート！ e受取アシスト

eお届け通知

NEW

LINEでお知らせ



お届け予定通知

メールでお知らせ



お届け予定通知

ご不在通知

e受取チョイス

お届け日時を変更



ご近所 / お勤め先で
受け取る



郵便局で受け取る



コンビニで受け取る



はこぼすで受け取る



NEW

ご自宅の指定場所で
受け取る

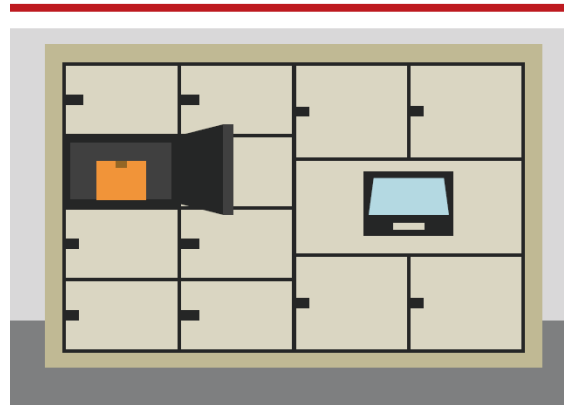


「e受取アシスト」による指定場所配達サービスにおいて指定できる場所は、以下の6か所

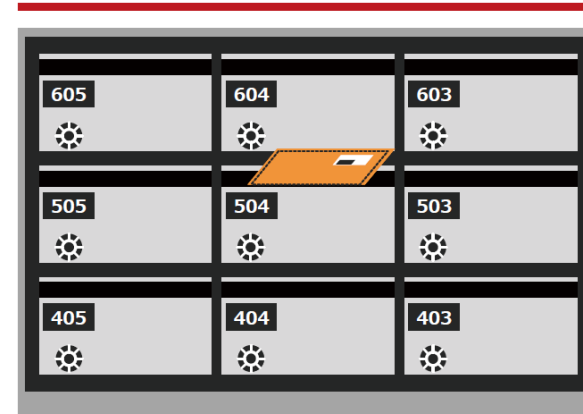
玄関前



宅配ボックス



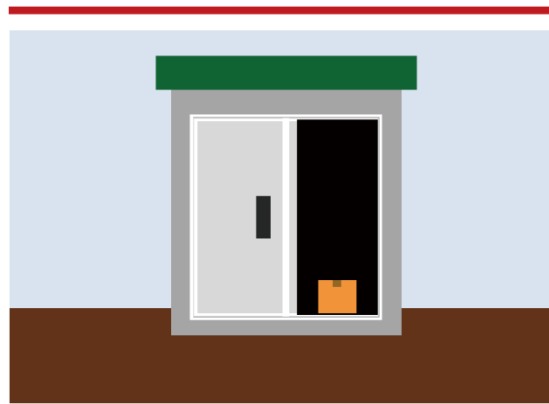
郵便受箱



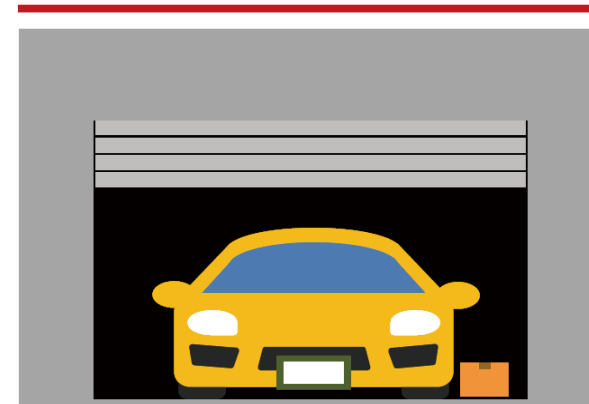
メーターボックス



物置



車庫



(参考3) 指定場所配達サービスの比較

パターン	ラベル記載 (指定配達場所)	指定場所の決定時期	荷送人システム改修	指定可能な場所
指定場所ダイレクト	○	注文時	○	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前（鍵・ワイヤー付） ・郵便受箱 ・宅配ボックス ・メーターボックス ・車庫／物置 ・自転車カゴ
指定場所配達 e 受取アシスト <事前の提出書類なし>	×	差出後～	○ 発送メールへのリンク	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前（鍵・ワイヤー付） ・郵便受箱 ・宅配ボックス ・メーターボックス ・車庫／物置
指定場所配達に関する依頼書 <事前の提出書類あり>	×	配達前 (持出し時)	×	<p>依頼書記載場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風雨にさらされない ・外から見えない ・荷受人と配達場所の齟齬が無い

概要	<ul style="list-style-type: none">✓ Yper（株）と共同で、置き配袋OKIPPAを用いた実証実験を昨年、12月に東京都杉並区において、モニター1,000世帯を対象に実施✓ 最終的に再配達率を61.0%削減✓ 盗難・悪戯の報告なし。モニター満足度は、過半数が80点以上と評価
----	--

◇ 実証実験概要

エリア	・東京都杉並区（配達を担当とする郵便局は、杉並局、杉並南局、荻窪局）
実験内容	<ul style="list-style-type: none">・杉並区内のモニター1,000世帯にOKIPPAを無料配布・毎週、OKIPPAでの受取で完了した件数（再配達削減の程度）、使いやすさ等をモニターにアンケートで確認
実験期間	・12月3日（月）～12月31日（月） 29日間
モニター属性	<ul style="list-style-type: none">・戸建て45.0%、アパート47.2%、マンション7.8%・約6割が週1回以上通販を利用する通販ヘビーユーザー

指定場所配達サービスにおける普及に向けての主な課題としては、認知度等の向上、社会的受容性の向上、盗難リスクの低減、利用可能な場所の拡大などが考えられる。

項目	概要
認知度等の向上	「置き配」サービスに対する認知度・利便性・効果を広く知っていただく必要
社会的受容性の向上	「置き配」サービスに対する荷送人様及び荷受人様の理解を深めていただき、社会的受容性を向上させる必要
盗難リスクの低減	盗難リスクを低減させるための対策
利用可能な場所の拡大	オートロックマンションなど利用制約がある建物での利用